



# 弘前医療福祉大学短期大学部紀要

*Journal of Hirosaki University  
of  
Health and Welfare Junior College*

第1巻 第1号  
2013年2月発行

弘前医療福祉大短期大学部紀要  
J. Hirosaki Univ. Health Welf. Junior College.

弘前医療福祉大学短期大学部紀要編集委員会

# 目 次

紀要創刊号の発刊に寄せて……………	弘前医療福祉大学短期大学部学長 下田 肇	
[原 著] 介護福祉・看護学生のコミュニケーション技術能力に関する教員評価の現状 福士 尚葵、奈良 知子、瀬下 文子……………		1
[原 著] 委託型の地域包括支援センター社会福祉士のネットワーク構築に関する認識 工藤 雄行、大沼 由香、中村 直樹、小池 妙子、富田 恵、寺田富二子……………		9
[研究報告] フレデリック・フランソワ・ショパンをめぐる覚書 相澤 保正……………		19
[研究報告] 天然原料を使って取るだしと顆粒だしの識別及び嗜好に関する調査研究 三上 統生……………		27
[研究報告] 国産もち小麦「もち姫」を使用した「もち姫小麦麺」の開発 石岡久美子、早川 和江、葛西 静男、石岡真移子、山田和歌子……………		33
[研究報告] スルメイカを使用した介護食品の開発 石岡久美子、早川 和江、葛西 静男、石岡真移子、山田和歌子……………		39
[研究ノート] 看護・医療系学生の共同制作における、チームコミュニケーション向上のためのアート教育 大溝 文清……………		45
紀要規程・投稿要項……………		53
編集後記		
紀要編集委員会委員		

## 弘前医療福祉大学短期大学部紀要投稿規定

- 1 本紀要への投稿者は、弘前医療福祉大学短期大学部の教員及び非常勤講師とする。  
(共同執筆者に卒業生を含むことは差し支えない)  
なお、この他弘前医療福祉大学の教員及び非常勤講師の寄稿及び依頼原稿も含むものとする。
- 2 原稿は、未発表のもので、① 原著論文、② 事例研究・事例報告などの研究ノート、  
③ 最近における介護福祉・食育福祉に関する内外の知見や調査レポートなどの資料とする。
- 3 投稿原稿は、和文または欧文とし、本原稿のほかにコピー2部とCDまたはUSBメモリーを添付する。提出に際しては、図・表・写真・本文・要旨の内訳を明記する。
- 4 投稿原稿は、資料の引用、差別用語、説明と同意などの倫理的配慮の記述をする。
- 5 投稿原稿はすべて掲載するが、原則として一人一編とする。本文の長さ、図・表・写真の大きさなど編集上不都合が生じる場合または印刷体裁が整わない場合には、変更を求めることがある。
- 6 投稿原稿は紀要編集委員長に提出するものとし、投稿の締め切りは毎年10月末日とする。
- 7 校正は二校までは投稿者が行う。初稿段階における大幅な変更は原則的に認めない。また、二校における内容にわたる修正も認めない。

## 弘前医療福祉大学短期大学部紀要執筆要項

- 1 投稿原稿はA4版、10ポイントで1枚につき40字（英字・数字は半角）×40行横書きとする。

原著論文、事例研究・事例報告などの研究ノートは10枚（16000字）以内とし、最近における介護福祉・食育福祉に関する内外の知見や調査レポートなどの資料は5枚（8000字）以内とする。但し、図表1枚は800字（半数）分に数えるものとする。

欧文原稿は、A4版の用紙を使って用紙の左右2.5~3.0cm、上下3.5~4.0cmの余白をとり、ダブルスペースで1行約60打字25行のタイプライト（用紙1枚に約300words入ることになる）をしたものとする。

欧文は必ずnative speakerによる校閲を受けたものであること。

- 2 図・表等は、各々1枚の用紙に図1または表1と書く。表題・図・表・写真は別葉とし、本文中に入れない。掲載箇所は、本文原稿の右端欄外に赤字で図・表・写真の番号をもって指定する。

図表原稿の大きさは、A4版を越えないことを原則とする。折りこみについてはできるだけ避けるようにする。

- 3 和文表題には、欧文表題・著者名の英文を付す。欧文の場合には、表題・著者名・所属の順とする。
- 4 本文とは別葉に、400字以内の和文要旨とキーワード3~5語を記す。欧文要旨を付す場合は300語以内とし、keywords 3~5語を記す。
- 5 注は、本文中にその位置をアラビア数字で（ ）中に指示し、注記は、各論文の形式に適した位置に置く。なお、注の活字は本文の活字よりもポイントを下げてもよい。
- 6 引用文献の記載は、ポイントを下げ、それぞれの学会誌等に順ずる。
- 7 他の出版物から図・表等の資料を引用転載する場合は、その資料が著者自身のものであっても、必ず出典引用する。

# 編 集 後 記

弘前医療福祉大学短期大学部

紀要編集委員会委員長 葛原 徹

待望久しかった、わが短期大学部の「紀要第1号」を皆様の元にお届けすることができ、紀要編集委員会の委員一同本当にホッとしているところです。

省みますと、本学部において「紀要」の創刊に向けて編集委員会が立ち上げられたのは、短期大学開学から5年目の平成19年11月のことだったと記憶していますが、このときは残念ながらさまざまな事情が重なって、実現には至りませんでした。

そうしているうちに、いよいよ来年は短大開学10周年という平成23年の秋ごろになって、「来年こそ紀要を発行したい」と期待する声が本学部内に俄かに高まってきました。

そしてこのような機運の醸成を受けて、翌年5月に開催された定例教授会で、紀要創刊に係るスケジュール案が了承され、投稿原稿の募集が開始されたという次第です。

今回の「紀要第1号」には、原著論文2編、研究報告4編、研究ノート1編の計7編が収められています。投稿された各先生方の教育と研究に対する強い信念と意欲に対して、各位の忌憚のないご意見・ご鞭撻を賜りますようお願いを申し上げます。

なお「紀要」は、本学部から発信される情報の中でも最も重要性の高いものの一つであり、これを機に、これから毎年継続的に発行されていくことが何よりも大事なことです。

今後とも積極的なご投稿を心から御期待申し上げます。

弘前医療福祉大学短期大学部

紀要編集委員会

委員長 葛原 徹

副委員長 牛田 泰正

委員 早川 和江

委員 福士 尚葵

委員 工藤 雄行

---

Journal of Hirosaki University of Health and Welfare Junior College

弘前医療福祉大学短期大学部紀要

第1巻 第1号

平成25年2月28日発行

---

編集・発行 〒036-8102 弘前市小比内3-18-1  
弘前医療福祉大学短期大学部内 紀要編集委員会  
TEL：0172-27-1001

印刷所 〒036-8061 弘前市神田4-4-5  
やまと印刷株式会社  
TEL：0172-34-4111 FAX：0172-36-3299

---

## Contents

[Original]

- Teacher evaluation about the communication technical ability of the Carewelfare, the nursing student.  
**Naoki Fukushi, Tomoko Nara, Fumiko Seshimo** ..... 1

[Original]

- Awareness of network building among social workers at an outsource-type community comprehensive support center  
**Yuko Kudo, Yuka Ohnuma, Naoki Nakamura, Taeko Koike, Megumi Tomita, Fujiko Terada** ..... 9

[Report]

- A note of Frédéric François Chopin  
**Yasumasa Aizawa** ..... 19

[Report]

- Research and study relating to discrimination and taste between natural soup stock and instant broth granules  
**Norio Mikami** ..... 27

[Report]

- Development of Noodles Made from Waxy Wheat Flour (Mochihime komugi men)  
Using Domestic Waxy Wheat Flour (Mochihime)  
**Kumiko Ishioka, Kazue Hayakawa, Shizuo Kasai, Maiko Ishioka, Wakako Yamada** ..... 33

[Report]

- Development of Foods that are Easy to Chew and Swallow Using Japanese Common Squids  
**Kumiko Ishioka, Kazue Hayakawa, Shizuo Kasai, Maiko Ishioka, Wakako Yamada** ..... 39

[Note]

- Art education utilizing a collaborative production project for the improvement of team communication amongst nursing and medical students  
**Fumikiyo Omizo** ..... 45